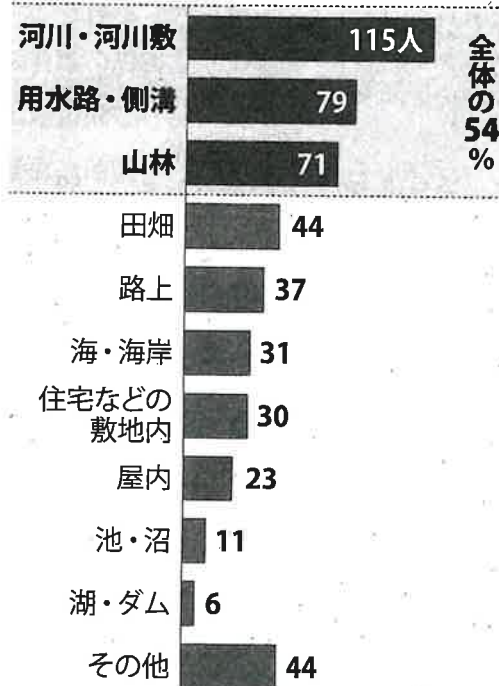


認知症不明死者77%5キロ圏内

2024年に認知症が原因で
行方不明になった後に死亡した
人の77・8%は行方不明になっ
た場所から5キロ圏内で発見され
ていたことが5日、警察庁の分
析で明らかになった。発見され
たのは河川や山林といった人目
91人について、警察庁が初め

認知症で行方不明後に死亡した人の
発見場所(2024年)



※警察庁の資料に基づき作成

警察庁「GPS装着有効」

て分析した。

自宅など行方不明になった場
所から1キロ以内が235人で、
1キロ超〜5キロ以内が147人だ
った。5キロ超〜10キロ以内は48人、
10キロ超〜50キロ以内は45人、50キロ
超は15人で、不明が1人いた。

河川で発見最多

発見された場所で見ると、河
川・河川敷が最多の115人
で、用水路・側溝79人、山林71
人と続き、これらで全体の54・
0%を占めた。他は、田畑44人
▽路上37人▽海・海岸31人▽住
宅などの敷地内30人▽屋内23人
▽池・沼11人▽湖・ダム6人
―などだった。河川や用水路、
山林は手がかりがないと捜索が

難しいとされる。

認知症で行方不明になり、24
年に全国の警察に届け出があ
ったのは1万8121人(前年
比4・8%減)で12年に統計を
取り始めて以降、初めて減少し
た。

23年以前の届け出も含め、24
年中に警察や家族らに発見され
たのは1万6942人。所在確
認の時期は99・3%が1週間以
内で、届け出当日は73・6%だ
った。2年以上たってから所在
が確認された人もいた。死亡し
ていたのは549人、届け出の
取り下げなども552件あっ
た。

24年に行方不明になり、無事
に見つかった1万6877人の
うち1111人はGPS端末を着
用していた。103人は家族が
持たせ、8人は自治体からの貸
与だった。

【山崎征克】